

資料 1

議案第 1 号

宇和島市地域公共交通計画への事業の位置づけについて (地域公共交通り・デザイン検討調査支援業務)

宇和島市では令和 6 年 3 月に「宇和島市地域公共交通計画」を策定し、基本理念である「拠点間の移動を支える、効率的で持続可能な公共交通ネットワークの形成」を実現するために、宇和島市の公共交通の現状や課題、地域公共交通が果たすべき役割などを設定しております。

昨年度、国土交通省の補助事業を活用した「地域公共交通り・デザイン検討調査支援業務」において、「地域住民の移動ニーズの把握」や「ニーズに合った施策案の検討」などを実施しましたが、本計画へ事業を位置づける必要があることから計画への掲載（案）を作成しましたので、その内容についてご審議いただくものです。

なお、本資料は掲載した箇所を一部抜粋したものとなります。

※上記内容のほか、前回協議会にてご指摘のあった事項も一部修正。

宇和島市地域公共交通計画



2024年3月 策定

2026年8月 改訂

宇和島市

目 次

1. はじめに.....	1
1.1. 計画策定の目的	1
1.2. 計画の対象区域	1
1.3. 計画の位置づけ	2
1.4. 計画の対象期間	2
2. 地域公共交通ネットワーク形成にあたっての問題点と課題.....	3
2.1. 宇和島市における公共交通の役割	3
2.2. 現状・問題点の整理	3
2.3. 課題の整理.....	4
3. 地域公共交通計画の基本的な方針と目標	6
3.1. 基本理念	6
3.2. 公共交通ネットワークの方向性と補助路線の状況.....	6
3.3. 基本方針	10
3.4. 計画の目標.....	11
4. 計画に位置づける事業とその実施主体等	15
4.1. 計画に位置づける事業の体系	15
4.2. 事業の内容.....	16
4.3. 事業のスケジュール	32
4.4. 事業の進捗管理	33
5. 宇和島市の現況.....	34
5.1. 人口.....	34
5.2. 主な施設の分布	36
5.3. 観光の状況.....	36
5.4. 財政の状況.....	37
5.5. 運転免許証の返納者	37
6. 宇和島市が目指すまちづくりの方向性.....	38
6.1. 第2次宇和島市総合計画.....	38
6.2. 第2期まち・ひと・しごと 宇和島市総合戦略	38
6.3. 宇和島市都市計画マスタープラン	38
6.4. 宇和島市立地適正化計画.....	39
6.5. 宇和島市 DX 推進計画.....	40
6.6. 愛媛県地域公共交通網形成計画.....	40
6.7. 愛媛県南予地域公共交通利便増進実施計画.....	40

7. 宇和島市の公共交通の現状	41
7.1. 現状の交通体系	41
7.2. 公共交通の圏域と人口分布	41
7.3. 交通結節点の概況.....	42
7.4. 陸上交通の概況	43
7.5. 海上交通の概況	50
8. 公共交通に関するニーズ調査	51
8.1. 市民ニーズ等の把握	51
8.1.1. 調査概要.....	51
8.1.2. 調査結果概要	51
8.2. ヒアリング調査	53
8.2.1. 調査概要.....	53
8.2.2. 調査結果概要	53

用語解説

(2) 補助路線の状況

宇和島市では、通勤・通学・買物・通院等を目的とした移動に不可欠な公共交通ネットワークを確保・維持するため、これら路線について国（幹線補助・フィーダー補助）や県（幹線補助）から支援を受けつつ、運行の維持・継続を図っていきます。

a) 定時定路線型の補助

定時定路線型の16系統のうち、7系統を幹線補助路線、9系統をフィーダー補助路線に位置づけます。

表 3 定時定路線型の幹線補助路線とフィーダー補助路線の状況（20232026 年度）

運行形態	運行系統	起点	経由地	終点	実施主体	補助事業の活用
定時定路線型 (16系統)	宇和島駅前～城辺線	宇和島駅前	市立病院	城辺	宇和島自動車	幹線補助
	宇和島駅前～宿毛線	宇和島駅前	市立病院	宿毛	宇和島自動車	幹線補助
	東高校前～虹の森公園前線	東高校前	北宇和病院・道の駅みま	虹の森公園前	宇和島自動車	幹線補助
	東高校前～野村病院線	東高校前	柿原ハイパス・北宇和病院	野村病院	宇和島自動車	幹線補助
	田之浜～天赦園線	田之浜	～	天赦園	宇和島自動車	幹線補助
	船間～天赦園線	船間	立目・知永・やすらぎの里	天赦園	宇和島自動車	幹線補助
	立間駅前～福浦線	立間駅前	バスセンター・南楽園	福浦	宇和島自動車	幹線補助
	大河内線	吉田駅	立間小学校	大河内	宇和島市 (運行委託: 宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	大良線	吉田駅	吉田中学校	大良	宇和島市 (運行委託: 宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	筋線	吉田駅	吉田中学校	筋	宇和島市 (運行委託: 宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	筋線 (花組経由)	吉田駅	鳥首口	筋	宇和島市 (運行委託: 宇和島ハイヤー)	フィーダー補助
	川之内線	道の駅みま	川之内	道の駅みま	宇和島市 (運行委託: 三間タクシー)	フィーダー補助
	音地線	三間支所	音地集会所	宮野下駅前	宇和島市 (運行委託: 三間タクシー)	フィーダー補助
	大藤線	道の駅みま	大藤集会所	もみの木前	宇和島市 (運行委託: 三間タクシー)	フィーダー補助
	増田線	道の駅みま	増田集会所	三間支所	宇和島市 (運行委託: 三間タクシー)	フィーダー補助
	きさいや広場～本九島線	きさいや広場	～	本九島	宇和島自動車	フィーダー補助

宇和島ハイヤー ⇒ 三間タクシー

※ 6月協議会にてご指摘いただいたため、今回修正

b) デマンド型の補助

デマンド型は、3 系統（別当線・大河内線・川平線）をフィーダー補助路線に位置づけます。

表 4 デマンド型のフィーダー補助路線の状況（20232026 年度）

運行形態	運行系統	実施主体	補助事業の活用
デマンド型 (3系統)	別当線	宇和島市（運行委託:丸之内そうご）	フィーダー補助
	大河内線	宇和島市（運行委託: 宇和島ハイヤー ）	フィーダー補助
	川平線	宇和島市（運行委託: 宇和島ハイヤー ）	フィーダー補助

宇和島ハイヤー ⇒ 三間タクシー

(3) 公共交通ネットワークの将来イメージ

各公共交通の役割分担等に基づき、まちづくりと連携した面的な公共交通ネットワークを形成するにあたって、目指すべき将来イメージは次のとおりです。



図 3 宇和島市の公共交通ネットワークの将来イメージ

【基本方針 2】地域関係者が協力し、拠点間の移動を支える公共交通連携軸の構築

【目標 2－1】地域で支える仕組みの構築				事業：⑪、⑫			
2-1-1	評価指標	地域モビリティ（※9）等の支援に関する取組					
	目標値設定と計測方法	・ 地域主体で行う地域モビリティの取組地区数（実証運行含む）を目標とする。 ・ 計画期間の最終年度末に市が取組状況を調査して取りまとめる。					
	目標値	現 状		目標値			
		1 地区		3 地区			
2-1-2	評価指標	公共交通の現状に関する広報の取組					
	目標値設定と計測方法	・ 公共交通を地域で支えるための前提として、対象地区の市民にコミュニティバスの利用状況を広く認知してもらうために、広報の取組状況を目標とする。（1 回以上取り組んだ広報の種類（WEB、施設へのチラシ配置等）を評価対象とする。） ・ 計画期間内の毎年度末に実施状況を市が調査して取りまとめる。					
	目標値	現 状		目標値			
		1 種類/年		3 種類/年			
【目標 2－2】地域公共交通の持続性の確保						事業：⑬、⑭、⑮、⑯	
2-2-1	評価指標	関係者の連携に関する取組					
	目標値設定と計測方法	・ 公共交通を持続可能にするため、①運転士等の確保に向けた募集に係る実施件数（県連携、自動車教習所、高校等）、②公共交通（路線バス・コミバス等）のデジタル化（キャッシュレス支払い等）の整備件数を目標とする。 ・ ①は計画期間内の毎年度末に市が実施状況を調査して取りまとめる。 ・ ②は計画期間中の最終年度末に事業者等より報告を受け、市が取りまとめる。					
	目標値	現 状		目標値			
		① 1 件/年 ② 1 件		① 2 件/年 ② 5 件			
2-2-2	評価指標	多様な移動手段の活用に関する取組					
	目標値設定と計測方法	・ 市内の輸送資源の有効活用を図るため、既存の輸送手段や送迎サービス等（福祉輸送、スクールバス、病院・商業施設等の送迎）の活用検討会議（①庁内・②庁外）の回数を目標とする。 ・ 計画期間の毎年度末に市が取組状況を調査して取りまとめる。					
	目標値	現 状		目標値			
		—		①庁内会議 1 回/年 ②庁外会議 1 回/年			

注：「事業：⑪、⑫、⑬、⑭、⑮、⑯」は、後述する「4.計画に位置づける事業とその実施主体等」の事業番号を示す。

※9：巻末の用語解説参照

4. 計画に位置づける事業とその実施主体等

4.1. 計画に位置づける事業の体系

前章で掲げた目標を達成するため、次に示す事業を本計画に位置づけ、実施します。

表 3 計画の目標と評価指標、事業の関係性

目標	評価指標	事業
【1-1】 公共交通の 分かりやすさ の向上	[1-1-1] 公共交通の分かりやすさの向上	①乗り方教室、交通安全教室を通じた利用方法の周知 ②公共交通マップ、乗継時刻表の整備 ③路線の案内方法・情報発信方法の改善 ④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討
	[1-1-2] 公共交通の市民への浸透	
【1-2】 公共交通の 使いやすさの 向上	[1-2-1] 交通結節点・乗継拠点の維持、情報提供の取組	⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実
	[1-2-2] バス等の待合環境整備に向けた地域の取組	⑥地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築 ⑦バリアフリー化への対応
	[1-2-3] 観光客等の利便性の向上	<再掲> ②公共交通マップ、乗継時刻表の整備 ③路線の案内方法・情報発信方法の改善 ④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討 ⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実
【1-3】 公共交通の 維持・利用促進	[1-3-1] 鉄道、路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、海上交通の利用者数	⑧免許返納に向けた取組 ⑨バス等の路線網の再編、最適化 ⑩必要な路線等への支援体制の検討
	[1-3-2] 収支率	
	[1-3-3] 公的負担額	
【2-1】 地域で支える 仕組みの構築	[2-1-1] 地域モビリティ等の支援に関する取組	⑪地域主体で行う地域モビリティ等の取組を支援する仕組みの構築
	[2-1-2] 公共交通の現状に関する広報の取組	⑫公共交通の現状に関する広報の実施
【2-2】 地域公共交通 の持続性の 確保	[2-2-1] 関係者の連携に関する取組	⑬運転士等確保に向けた取組の実施 ⑭新たな技術やサービスに関する取組
	[2-2-2] 多様な移動手段の活用に関する取組	⑮市内輸送資源の有効活用の検討 ⑯持続可能な地域公共交通の実現に向けた取組

【事業追加】

事業 ⑯	持続可能な地域公共交通の実現に向けた取組
現状・問題点	・公共交通の利用者減少や人手不足の影響から、路線バスの廃止や減便、タクシー事業者が撤退・廃業しており、交通空白地及び時間帯の交通空白が拡大している。 ・コミュニティバスの路線増加や延伸により、課題の解決を図ってきたが、人手不足などの問題から需要に対応しきれない状況になっている。
事業の概要・実施イメージ	・需要と供給の均衡が適切に保たれた持続可能な地域公共交通の実現に向けて調査・分析を行い、その結果を基に「交通空白」解消に向けた新たな交通サービスの方向性を検討するもの。客観的および主観的なエビデンスに基づいた次代の地域公共交通体系への再構築（リ・デザイン）を推進し、持続可能な地域公共交通の実現に向けたビジョン及び具体的な施策について検討を行う。 令和7年度 ◆ 各種調査の実施 ・住民アンケート ・住民、交通関係者ヒアリング ・地域公共交通活性化協議会への参加 など ◆ 調査結果から各地域の実情やニーズを把握 ・地域ごとの実情やニーズを基に、ビジョンや改善策（必要な交通サービス）の検討 次年度以降（見込） ◆ 実証運行 ・令和7年度の調査結果を基に、既存交通サービスの抜本的な見直しと地域に合致した新しい交通サービス（実証運行）を導入 （想定される交通サービス） AIオンデマンド 公共ライドシェア 日本版ライドシェア 自動運転 e t c ◆ 各地域への横展開 ・実証運行の結果を基に、市内各地域への横展開を検討
実施主体	【企画】 ：宇和島市、民間事業者 など 【実施】 ：交通事業者
スケジュール	【企画・実施】 ：2025 年度～
備考	

4.3. 事業のスケジュール

表 4 事業のスケジュール

事業	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
①乗り方教室、交通安全教室を通じた利用方法の周知	企画・調整・実施				
②公共交通マップ、乗継時刻表の整備	企画		作成・広報		
③路線の案内方法・情報発信方法の改善			検討・実施		
④イベント時等での公共交通に関する情報発信方法の検討	企画		実施		
⑤交通結節点・乗継拠点の維持、乗継情報の充実	企画		作成		
⑥地域でバス等の待合空間を整備・維持管理できる仕組みの構築	企画・地域との協議		実施		
⑦バリアフリー化への対応	ソフト事業は継続、ハード事業は車両更新時に実施				
⑧免許返納に向けた取組			広報は継続		
⑨バス等の路線網の再編、最適化	調査・検討は継続、再編・最適化は必要に応じ実施				
⑩必要な路線等への支援体制の検討	企画、補助基準と支援内容の改訂は必要に応じ実施				
⑪地域主体で行う地域モビリティ等の取組を支援する仕組みの構築	企画・地域との協議		実証運行		
⑫公共交通の現状に関する広報の実施			企画・実施		
⑬運転士等確保に向けた取組の実施			企画・実施		
⑭新たな技術やサービスに関する取組		企画・調整		実施	
⑮市内輸送資源の有効活用 の検討		企画・調整・会議の実施			
⑯持続可能な地域公共交通 の実現に向けた取組			企画・実施		

表 8 コミュニティバス、デマンドタクシーの概要

地区	路線・サービス概要			
宇和島	宇和島地区デマンドタクシー			
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先	丸之内そうご
	運 行 日	月～土（日祝、年末年始運休）		
	日 運 行 便 数	別当線 8.5 往復		
	運 賃	大人 300 円、小人 150 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料		
	備 考	居住エリア、まちなかエリアともに停留所を設定したミーティングポイント（※12）方式のデマンド便（要事前登録）		
吉 田	吉田地区コミュニティバス、デマンドタクシー			
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先	宇和島ハイヤー三間タクシー
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）		
	日 運 行 便 数	大良線 6.0 往復／筋線 4.0 往復／大河内線 5.0 往復（うち 2.5 往復はデマンド便）／川平線 1.0 往復（川平線は全てデマンド便）		
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料		
	備 考	一部、停留所を設定したミーティングポイント方式のデマンド便あり（要事前登録）		
三 間	三間地区コミュニティバス			
	サービス提供主体	宇和島市	運行委託先	三間タクシー
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）		
	日 運 行 便 数	川之内線 3 便／川之内線（三間小学校便）1.0 往復（小学校のある日だけ運行）／大藤線 3 便／音地線 4 便／音地線（二名小学校便）1.0 往復（小学校のある日だけ運行）／増田線 3 便		
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料		
	備 考	—		
津 島	津島地区コミュニティバス、デマンドタクシー			
	サービス提供主体	宇和島市（直営運行）	運行委託先	—
	運 行 日	月～金（土日祝、年末年始運休）		
	日 運 行 便 数	谷郷線 5.0 往復／須下線 3.0 往復／本俵線 4.0 往復／野井・五郎丸線 1.0 往復／上楨線 2.0 往復（上楨線は全てデマンド便）		
	運 賃	大人 200 円、小人 100 円 ・ 障害者手帳または障害者手帳アプリを所持している方と、その介護人は半額 ・ 未就学児については、大人 1 人につき 1 人無料		
	備 考	上楨線は前日までに利用予約が必要		

注：運行委託先は 20232026 年度時点

出典：宇和島市 HP

※12：巻末の用語解説参照